

# Press Release

2021年9月17日  
日本公認会計士協会

## 第42回日本公認会計士協会研究大会開催について

日本公認会計士協会は、2021年9月17日に第42回研究大会をヒルトン福岡シーホーク（福岡県福岡市）においてオンラインで開催いたしました。

この研究大会は、公認会計士、外部有識者、実務家等の研究成果等を全国から参集した公認会計士の前で発表し、社会との交流を深め、知識の吸収や資質の向上そして社会的発言の場とすることを目的として、1979年から開催しているもので、研究大会が北部九州会にて開催されるのは2006年（平成18年）、同じ福岡市において開催されて以来になります。

42回目となる今回は「会計士が創る躍動の未来～持続可能な社会の構築に挑む～」をメインテーマとし、VUCAの時代の中、公認会計士がSDGsにどのように貢献していけるかを提言するため、10テーマの研究発表を行い、のべ約1,000名がオンラインで参加しました。

また、研究発表に先立ち、開催地に関わりの深い外部講師を招いての記念講演も開催しており、今回は外尾悦郎氏（彫刻家）から「『永遠の未完』への挑戦」をテーマに、スペイン・バルセロナのサグラダ・ファミリアの芸術工場の監督として挑戦し続ける外尾氏の取り組みやその思いについてご講演いただきました。



以上